

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S06-01-01		
施設名	日暮里地域活性化施設（ふらっとにつぼり）				
所在地	東日暮里六丁目17番6号				
部課名	産業経済部産業振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	令和2年11月	1,448,939		523,000	
増改築①					
増改築②					
併設施設	日暮里区民事務所				
竣工年月日	令和2年11月18日		区職員	その他	
供用開始年月日	令和3年1月25日		職員数	2	
構造	鉄骨造		階層	地上5階建て	
面積	敷地面積		724 m <sup>2</sup>		
	延床面積		2,019 m <sup>2</sup>		
設置目的・経緯	地域住民・来訪者の利便性向上と活動・交流の促進による地域の活性化及び創業支援による地域産業の振興に寄与する。				
関連部署	産業経済部経営支援課、区民生活部区民課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立日暮里地域活性化施設条例				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	34台	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社日本環境ビルテック	期間	令和3年4月1日	から
				令和4年3月31日	まで
事業内容	(1) 地域に関する情報の提供に関する事業 (2) 創業の支援に関する事業 (3) 活性化施設の施設の使用に関する事業 (4) その他、区長が必要と認める事業				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前8時30分から午後10時まで			
	休日	年末年始、全館清掃・点検日等			

施設基本データ等	貸室利用者数 (人)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (見込み)
					186	4,536
に指定等管理費						

備考 施設は令和3年1月に開館。新型コロナウイルス感染症の感染対策に伴う休館や利用制限により、利用者数・利用可能日数・利用率は低い結果となっている。

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費	15,271	50,736	35,465	行政収入	地方税等	0
	物件費	69,265	100,896	31,631		国庫支出金	0	0
	維持補修費	1,804	0	▲ 1,804		都支出金	0	8,376
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0
	補助費等	178	148	▲ 30		使用料及び手数料	3,061	12,536
	減価償却費	19	61,096	61,077		その他	124	826
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,185	21,738
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,769	15,563	12,794		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 87,419	▲ 206,701
	その他行政費用	1,298	0	▲ 1,298		金融収支差額(d)	0	▲ 176
	行政費用合計(b)	90,604	228,439	137,835		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 87,419	▲ 206,877
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 87,419	▲ 206,877
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	1,339	3,937
	不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0
	有形固定資産	1,707,576	1,646,556	▲ 61,020		賞与引当金	1,339	3,937
	土地	210,259	210,259	0		その他の流動負債	0	0
	建物	1,494,983	1,494,983	0		固定負債	539,529	586,008
	建物減価償却累計額	0	▲ 60,864	▲ 60,864		特別区債	523,000	523,000
	工作物等	2,334	2,334	0		退職給与引当金	16,529	63,008
	工作物等減価償却累計額	0	▲ 156	▲ 156		その他の固定負債	0	0
	無形固定資産	745	668	▲ 77		負債の部合計	540,868	589,945
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産	1,167,453	1,057,279
	その他の固定資産	0	0	0		正味財産の部合計	1,167,453	1,057,279
	資産の部合計	1,708,321	1,647,224	▲ 61,097		負債及び正味財産の部合計	1,708,321	1,647,224

備考 行政費用としては、施設維持管理に係る委託料が多くかかっている。行政収入（施設使用料）は、新型コロナウイルスの影響による開館時間の変更や多目的スペースの新規予約受付停止のため、低くなっている。

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)			0.0	4.1	
	1㎡あたりコスト(円)			44,867	113,123	
	受益者負担比率(%)			3	5.5	
	区民1人あたりコスト(円)			419	1,056	
	貸室利用者数(人)			186	4,536	
備考	新型コロナウイルスの影響により、貸室利用者数は想定より低い結果となった。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	無	有	(計画名: )				
目標指標	指標名・単位		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	多目的スペース利用率	目標値 実績値			60 1	60 15	
施設運営の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 転用・多目的化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 民営化 <input type="checkbox"/> その他( )	他施設との統合		廃止		
管理形態の変更の推移	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (変更内容: ) <input type="checkbox"/> 無						
利用者・地域のニーズ	地域住民・来訪者の利便性向上と活動・交流の促進による地域の活性化を図る施設であり、オフィス・シェアオフィスにおいては創業支援事業を展開しており、必要性は高い。						
現状・課題	事業展開(おもてなしスペースの活用方法検討やワークショップ等の企画等)においては、施設利用者・地域住民・関係諸団体と連携し、調和を図りながら、「地域の活性化」というテーマを実現する取り組みが求められている。						
課題に対する現時点での考え	区及び施設入居事業者、施設管理運営事業者と地域住民・関係諸団体が連携できるスキームを構築し、企画・事業・広報・広聴等の活動を展開していく。						
議会、利用者等からの意見	令和3年2月会議 日暮里繊維街との連携について 令和3年6月会議 集客及びおもてなしスペースの活用について						